

品川区世論調査 あらまし

この小冊子は、2012（平成24）年に実施した「第20回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、防災、健康、商店街などの項目についてもたずねました。調査の結果は、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民の皆様には心より御礼を申し上げますとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 防災について
- 4 広報と情報化について
- 5 区議会について
- 6 健康について
- 7 商店街について
- 8 ごみ・リサイクルについて
- 9 品川区長期基本計画について
- 10 重点施策について

調査概要

- 調査対象：品川区在住の満20歳以上の男女個人
（平成24年6月1日現在）
- 抽出方法：層化2段無作為抽出法
- 対象者数：1,500人
- 調査方法：調査員による個別面接聴取法
- 回収数：1,134人
- 回収率：75.6%
- 調査期間：平成24年6月30日～7月16日
- 調査機関：株式会社 エスピー研

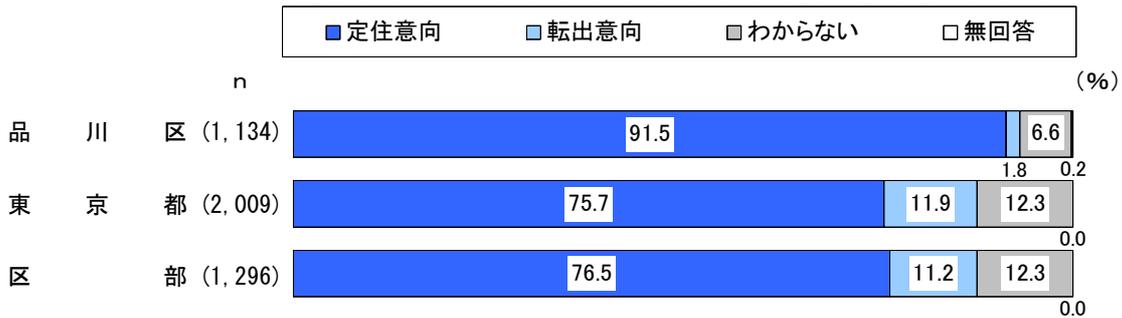
この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第20回世論調査として区公式ホームページと、区政資料コーナー（第三庁舎3階）または、図書館で閲覧することができます。

1 定住性について

■ 定住意向 区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」（53.8%）と「当分は住みたい」（37.7%）を合わせると91.5%で、定住意向は過去最高となっています。

また、東京都、区部との比較でみると、東京都より 15.8 ポイント、区部より 15.0 ポイント高くなっています。



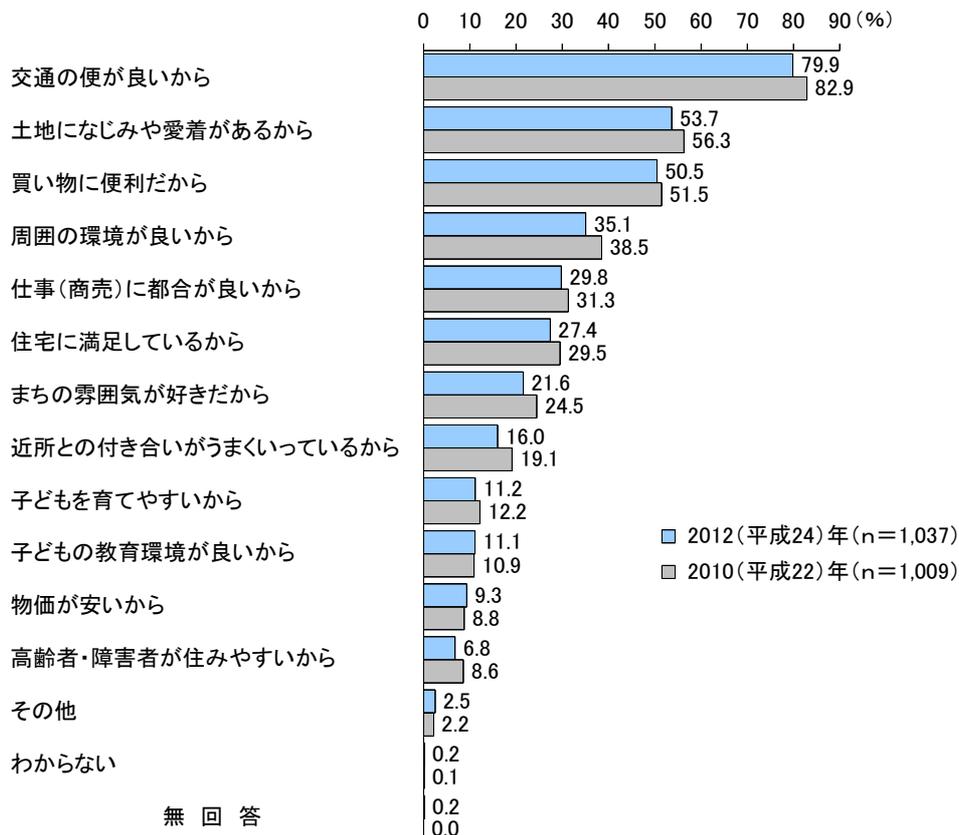
※注意点

東京都と区部は地域定住意向の調査結果

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（平成 23 年）

■ 定住意向理由 交通や買い物の便が良いという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便が良いから」が79.9%と最も高く、次いで「土地になじみや愛着があるから」（53.7%）、「買い物に便利だから」（50.5%）などの順となっており、交通や買い物の便の良さが大きな理由となっています。

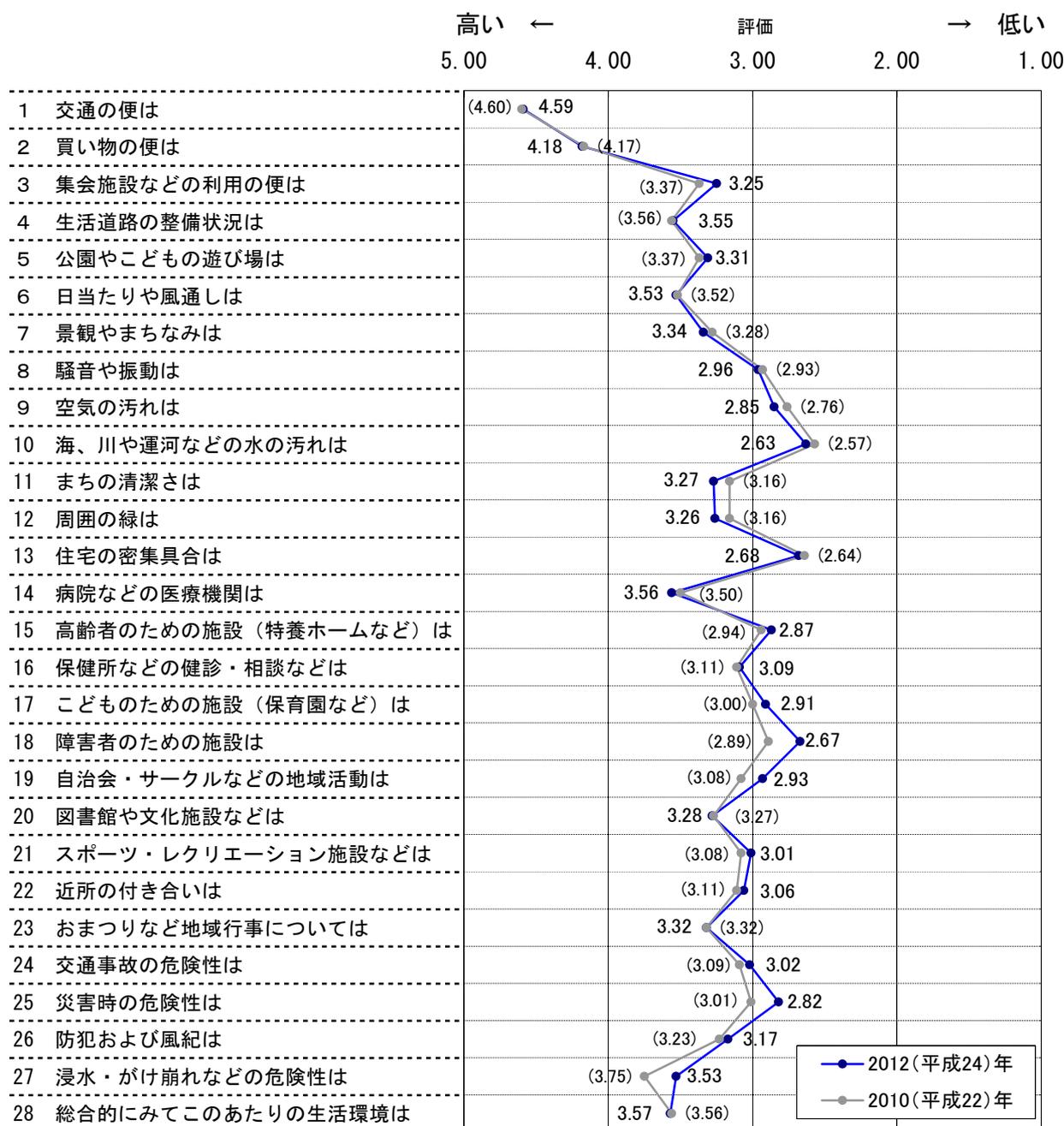


2 生活環境について

■ 生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価が低い

生活環境を評価点でみると、「交通の便」や「買い物の便」での評価が高く、「海、川や運河などの水の汚れ」「障害者のための施設」「住宅の密集具合」といった環境面での評価が低くなっています。



評価点 = (「良い」の回答者数 × 5点 + 「やや良い」の回答者数 × 4点 + 「普通」の回答者数 × 3点 + 「やや悪い」の回答者数 × 2点 + 「悪い」の回答者数 × 1点) ÷ 回答者数

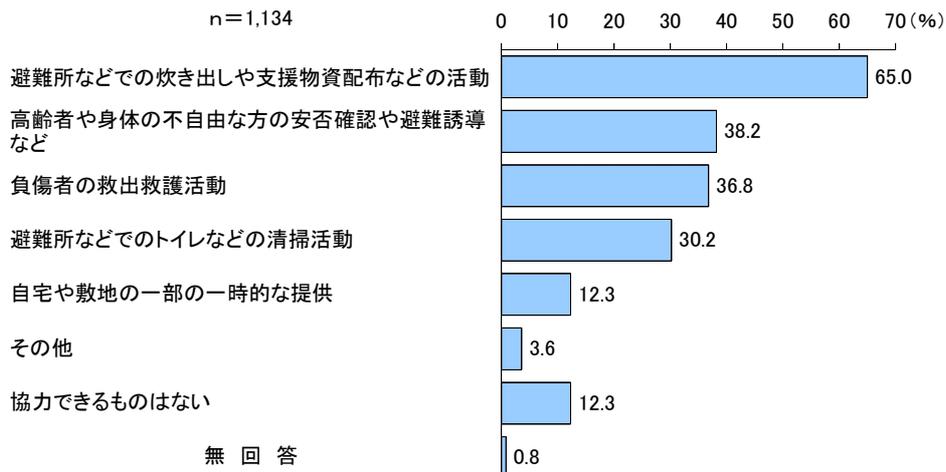
図中、かっこのない値は 2012(平成 24) 年の評価点を、かっこ付きの値は 2010(平成 22) 年の評価点を示します。

3 防災について

■ 災害時に協力できる防災活動

「避難所などでの炊き出しや支援物資配布などの活動」が6割半ば

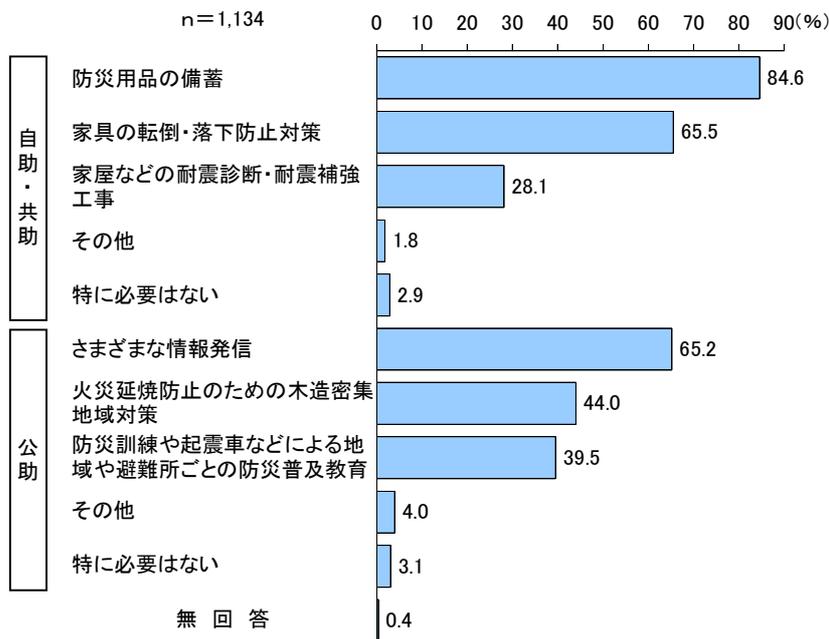
災害時に協力できる防災活動についてたずねたところ、「避難所などでの炊き出しや支援物資配布などの活動」が65.0%と最も高く、次いで「高齢者や身体の不自由な方の安否確認や避難誘導など」(38.2%)、「負傷者の救出救護活動」(36.8%)などの順となっています。



■ 今後充実すべき防災対策

「防災用品の備蓄」、「さまざまな情報発信」がそれぞれで高い

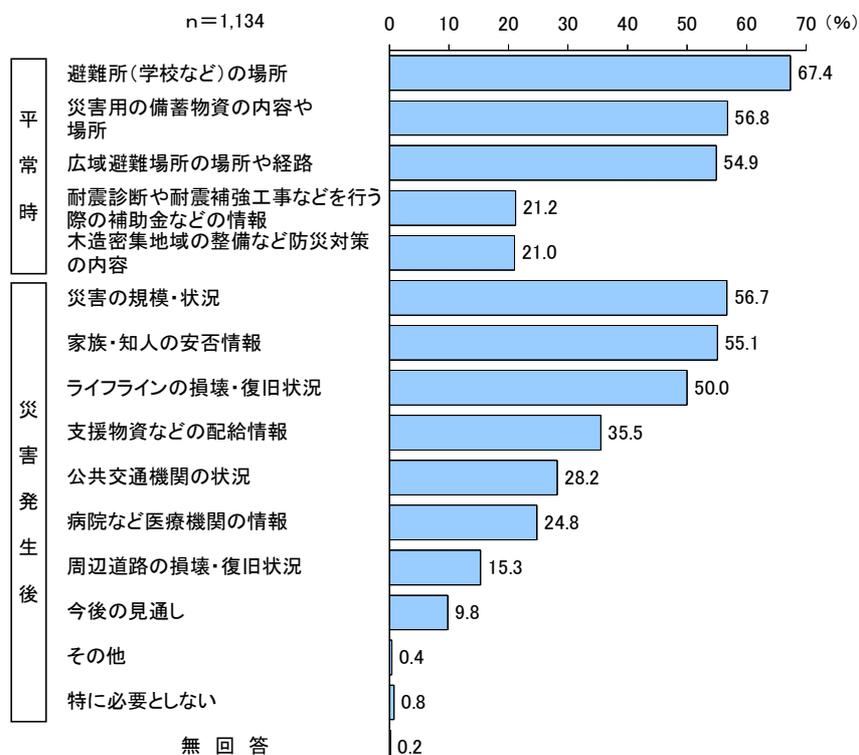
今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、自助・共助では「防災用品の備蓄」が84.6%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(65.5%)などの順となっています。公助では「さまざまな情報発信」が65.2%と最も高く、次いで「火災延焼防止のための木造密集地域対策」(44.0%)などの順となっています。



■ 必要な災害に関する情報

「避難所(学校など)の場所」、「災害の規模・状況」がそれぞれで高い

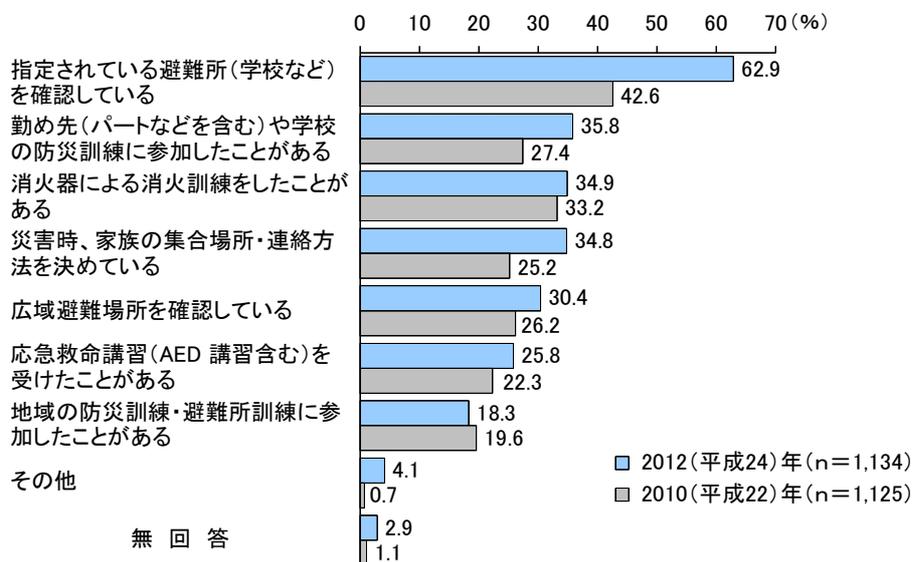
必要な災害に関する情報についてたずねたところ、平常時では「避難所(学校など)の場所」が67.4%と最も高く、災害発生後では「災害の規模・状況」(56.7%)、「家族・知人の安否情報」(55.1%)が高くなっています。



■ 防災に関して既に行っていること

「指定されている避難所(学校など)を確認している」が6割を超える

防災に関して既に行っていることをたずねたところ、「指定されている避難所(学校など)を確認している」が62.9%と最も高く、次いで「勤め先(パートなどを含む)や学校の防災訓練に参加したことがある」(35.8%)などの順となっています。

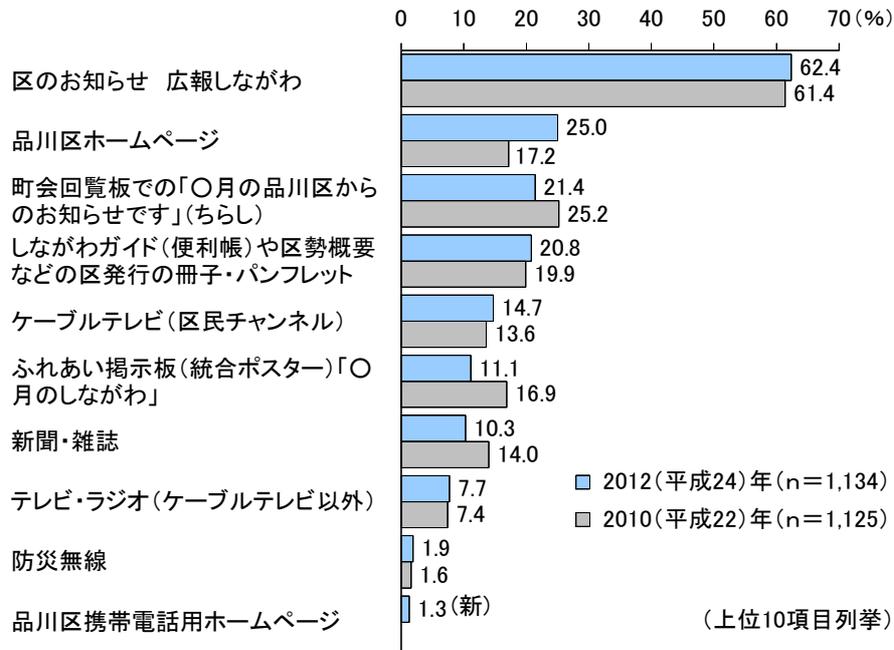


4 広報と情報化について

■ 区に関する情報の入手先

「区のおしらせ 広報しながわ」が6割を超える

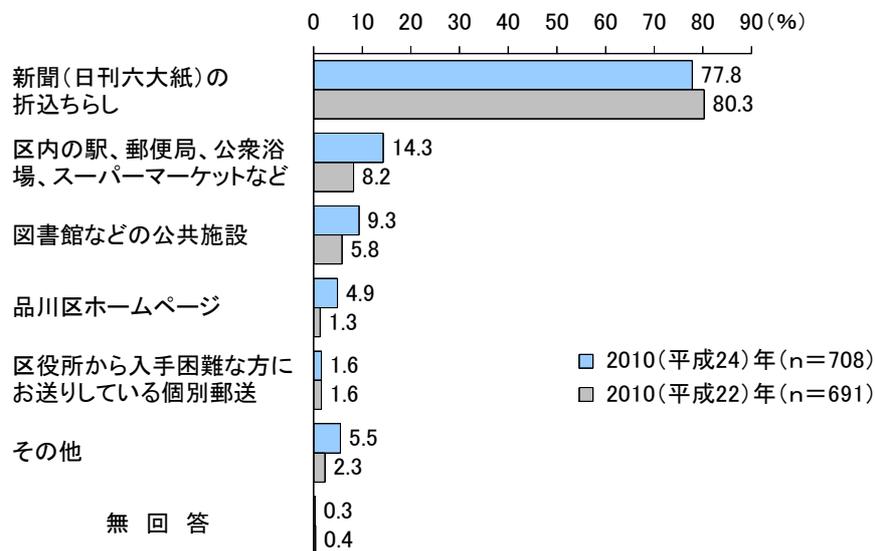
区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のおしらせ 広報しながわ」が62.4%と特に高く、次いで「品川区ホームページ」(25.0%)などの順となっています。



■ 「広報しながわ」の入手先

「新聞(日刊六大紙)の折込ちらし」が8割近く

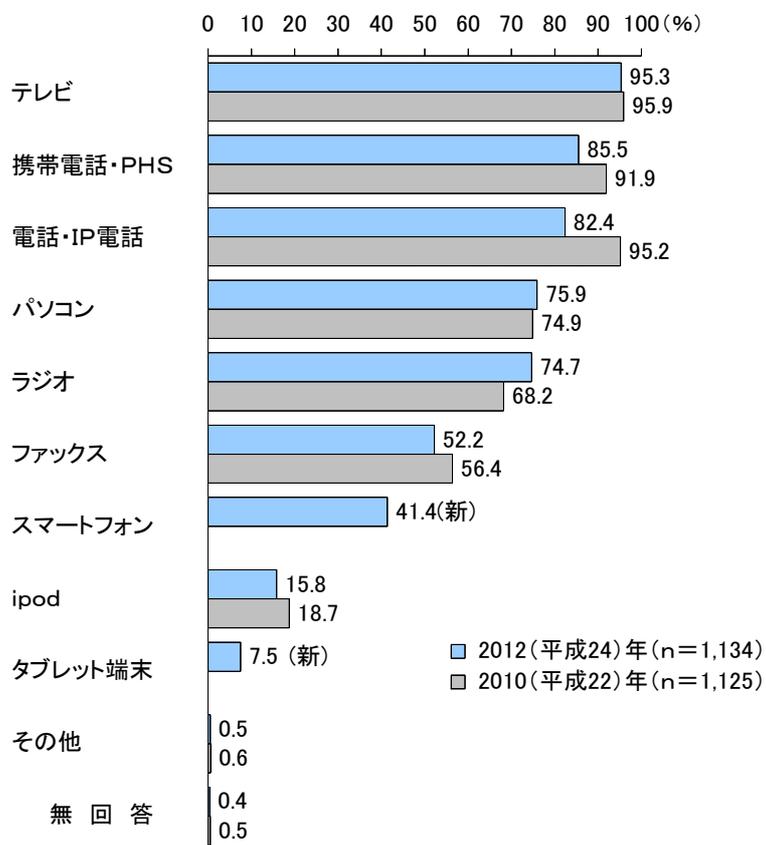
「広報しながわ」の入手先をたずねたところ、「新聞(日刊六大紙)の折込ちらし」が77.8%と突出しています。



■ 家庭で保有している通信機器

「テレビ」が9割半ば

家庭で保有している通信機器は、「テレビ」が95.3%と最も高く、次いで「携帯電話・PHS」(85.5%)、「電話・IP電話」(82.4%)などの順となっています。

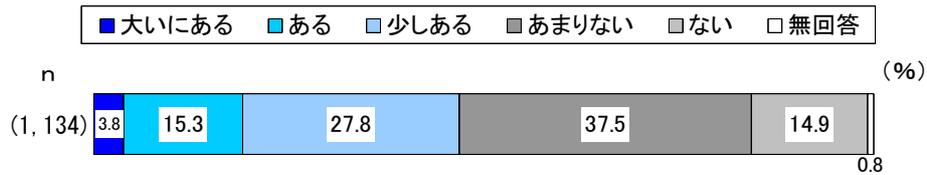


5 区議会について

■ 区議会への関心

関心が『ある』人が5割近く

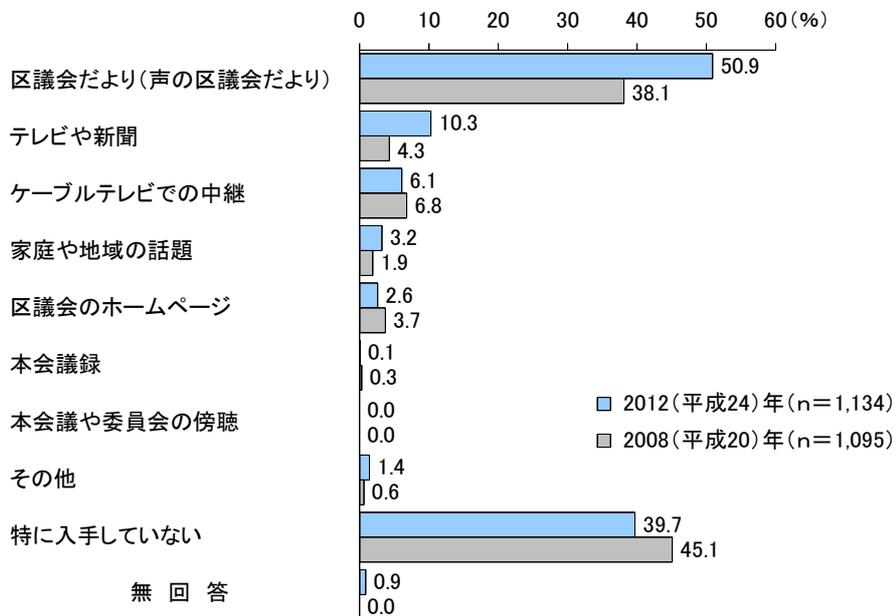
区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」(3.8%)と「ある」(15.3%)と「少しある」(27.8%)を合わせた『ある』は46.9%となっています。



■ 区議会情報の入手先

「区議会だより（声の区議会だより）」がほぼ5割

区議会情報の入手先をたずねたところ、「区議会だより（声の区議会だより）」が50.9%と突出しており、次いで「テレビや新聞」(10.3%)、「ケーブルテレビでの中継」(6.1%)などの順となっています。

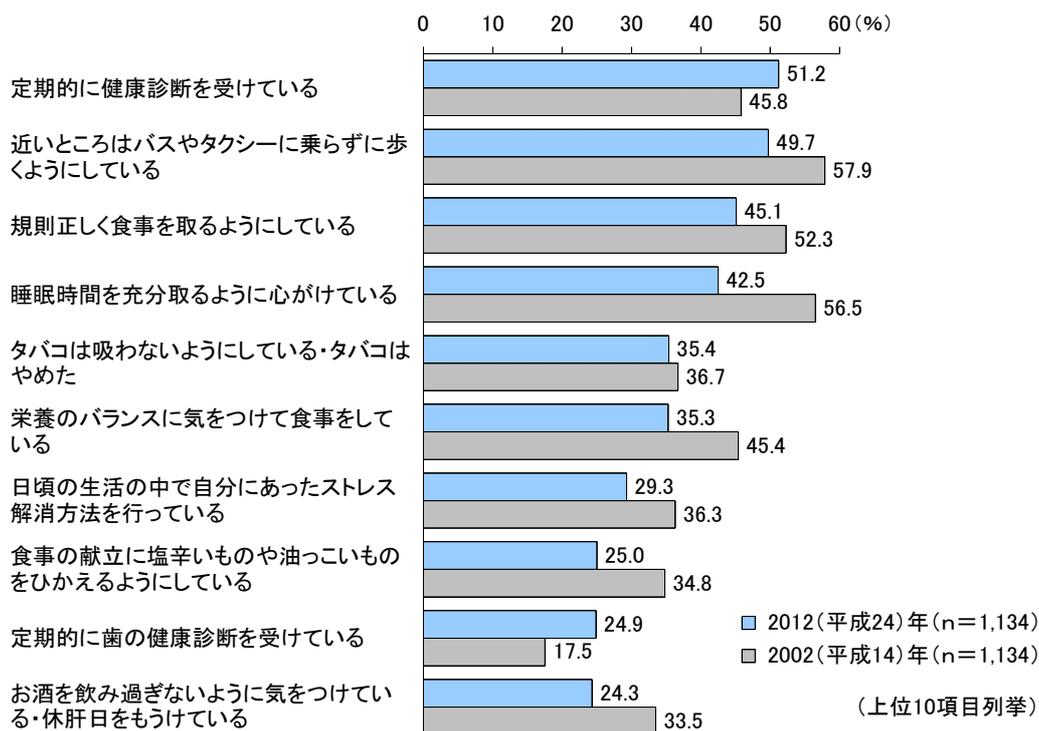


6 健康について

■ 健康のために日ごろから行っていること

「定期的に健康診断を受けている」が5割を超える

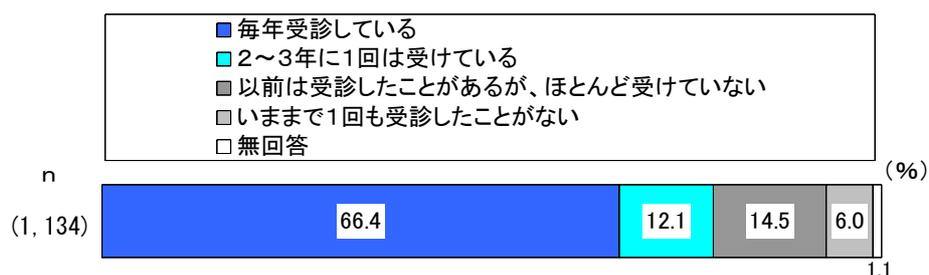
健康のために日ごろから行っていることをたずねたところ、「定期的に健康診断を受けている」が51.2%と最も高く、次いで「近いところはバスやタクシーに乗らずに歩くようにしている」(49.7%)、「規則正しく食事を取るようになっている」(45.1%)などの順となっています。



■ 健康診断の受診率

「毎年受診している」が6割半ば

健康診断の受診率をたずねたところ、「毎年受診している」が66.4%と最も高く、次いで「以前は受診したことがあるが、ほとんど受けていない」(14.5%)、「2~3年に1回は受けている」(12.1%)の順となっています。また、「いままで1回も受診したことがない」(6.0%)はわずかとなっています。

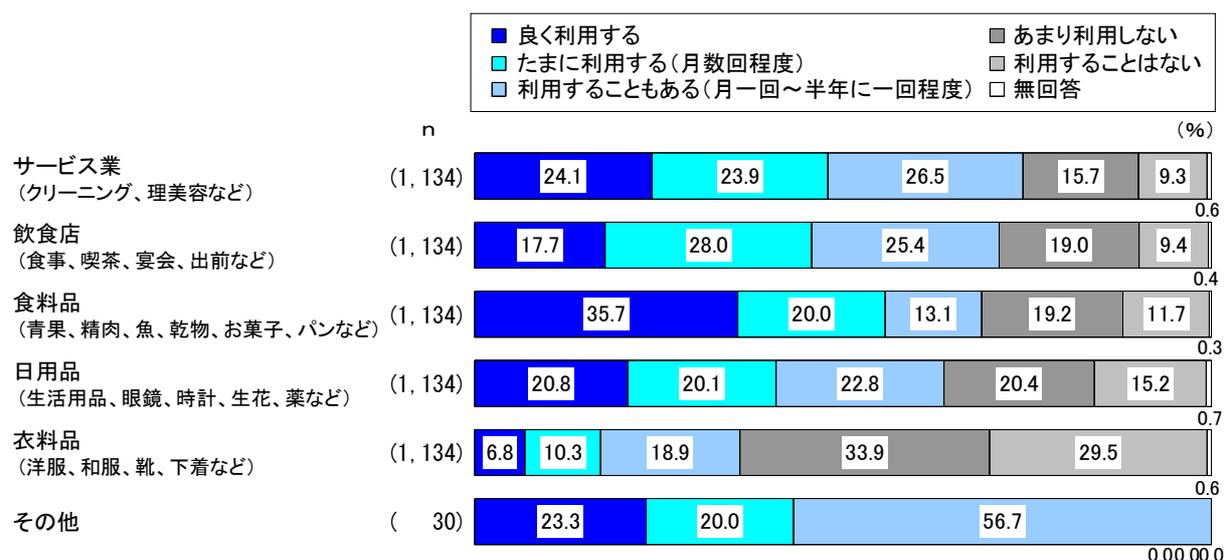


7 商店街について

■ 商店街の利用頻度

“サービス業” “飲食店” を『利用する』人が7割を超える

商店街の利用頻度についてたずねたところ、「良く利用する」と「たまに利用する（月数回程度）」、「利用することもある（月一回～半年に一回程度）」を合わせた『利用する』では、“サービス業（クリーニング、理美容など）” が74.5%、“飲食店（食事、喫茶、宴会、出前など）” が71.1%などとなっています。



■ 商店街情報の入手先

“新聞折り込みチラシ” “区のお知らせ 広報しながわ” を『見る』人が多い

商店街情報の入手先をたずねたところ、「良く見る」と「時々見る」を合わせた『見る』では、“新聞折り込みチラシ” が51.0%、“区のお知らせ 広報しながわ” が47.7%などとなっています。

